

# 入札説明書

## (郵便入札方式)

この入札説明書は、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号。以下「施行令」という。）、福島県財務規則（昭和39年福島県規則第17号。以下「財務規則」という。）及び本件物品調達契約に係る条件付一般競争入札（以下「入札」という。）の公告等の規定に基づき、福島県が発注する物品調達契約に関し、本件入札に参加を希望する者（以下「入札者」という。）が熟知し、かつ、遵守しなければならない一般事項を定めたものである。

なお、本件は入札書を郵送する郵便入札方式により行うものとする。

### 1 発注者（契約権者）

福島県（福島県県南地方振興局長 伊藤 智樹）

### 2 入札に付する事項

公告に示すとおり。

なお、買入をする物品の仕様等については別紙仕様書のとおり。

### 3 入札に参加する者に必要な資格に関する事項

公告に示すとおり。

なお、参加資格制限期間中の者は、物品の全部又は主要な一部の下請けを行うことは認められていない。

### 4 入札に参加する者に必要な資格の確認

入札に参加を希望する者は、上記3に掲げる必要な資格の確認を受けるため、条件付一般競争入札参加資格確認申請書（第3号様式。以下「確認申請書」という。）に次の(1)に掲げる書類等を添付し、令和8年3月10日（火）午後5時までに下記5の(1)に示す場所に提出し、当該資格の確認を受けること。

当該資格の確認結果については、条件付一般競争入札参加資格確認通知書により別途通知する。

なお、期日までに当該申請を行わなかった場合は、入札に参加できないので、十分に注意すること。

(1) 指定した期日までに必ず納品する旨の確約書（様式任意）※参考様式別添

### 5 入札書の提出期限等

(1) 確認申請書及びその添付書類の提出期限及び提出場所

令和8年3月10日（火）午後5時（必着） 福島県県南地方振興局出納室  
提出方法は持参又は郵送とする。

(2) 入札書及びその添付書類の提出期限及び提出場所

令和8年3月17日（火）午後5時（必着） 福島県県南地方振興局出納室  
提出方法は下記6に掲げる方法による。

(3) 開札の日時及び場所

令和8年3月18日（水）午前11時 福島県県南地方振興局出納室

## 6 入札書の提出方法

- (1) 入札書は、指定の入札書（第6号様式）に必要とする事項を記載し、上記5の(2)で指定する日時及び場所へ提出すること。なお、持参、電報、電送その他の方法による入札は認められない。

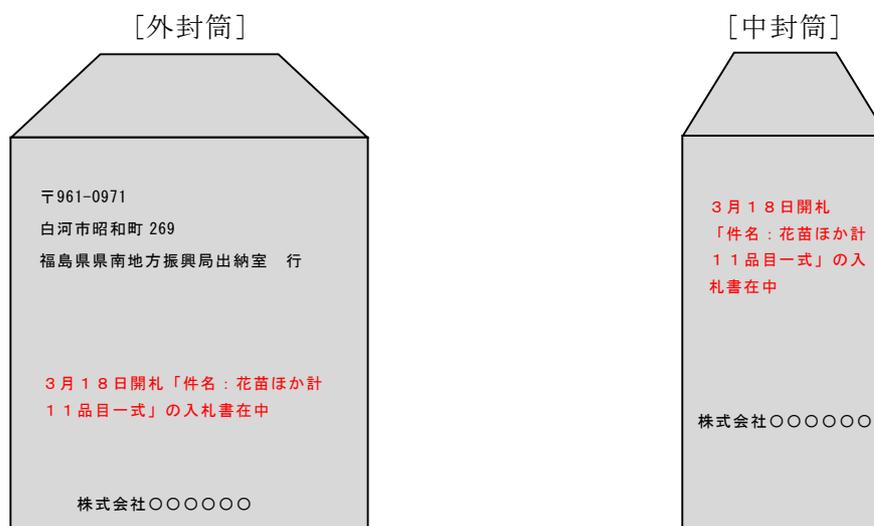
また、入札者の押印を省略する場合は、その旨を明示し、かつ、入札書の余白に「本件責任者及び担当者」の氏名・連絡先を記載すること。

- (2) 入札書を郵送する際は、**書留郵便**によること。また**二重封筒**とし、**入札書**を**中封筒**に**密封**のうえ、当該中封筒及び外封筒に次のア、イに掲げた事項を記載し、期限必着となるように送付すること。

ア 氏名（法人にあっては、商号又は名称）

イ **〔3月18日 開札「件名：花苗ほか計11品目 一式」の入札書在中〕**

※ 外封筒及び中封筒の作成例



- (3) 入札書には、次の書類を添付しなければならない。

ア 品目ごとの内訳書 第6号様式（その2）

※ ただし初回の入札のみの添付とし、再入札以降は、落札者が落札決定後に提出すること。

- (4) 入札書には、次の事項が記載されていなければならない。

ア 落札の決定に当たっては、入札書に記載された入札金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

イ 入札者の住所、商号又は名称、代表者職・氏名を記載し、押印すること。

押印を省略する場合は、「本件責任者及び本件事務担当者」の氏名及び連絡先を記載すること。

## 7 入札保証金

財務規則第249条第1項第4号の規定に基づき入札保証金は免除する。

## 8 入札方法及び開札等

- (1) 開札は、上記5の(3)で指定する日時及び場所で行う。
- (2) 開札は、入札執行事務に関係のない職員を立ち合わせて行うものとする。
- (3) 開札の結果、予定価格の範囲内の価格の入札がないときは、再度入札に付すことができるものとし、再度入札の方法については別途通知する。  
なお、再度入札の回数は、原則として2回を限度とする。
- (4) 初回入札が無効（ただし、下記12の(2)～(4)に該当する場合を除く）となった者は、再度入札に参加できないものとする。

## 9 入札参加者に要求される事項

入札者は、入札書及び添付書類を期限まで提出しなければならない。また、入札者は、開札日の前日までの間において提出した書類に関し、福島県県南地方振興局長から説明を求められた場合は、それに応じなければならない。

## 10 入札心得

- (1) 入札者は、仕様書等、契約の方法及び入札の条件等を熟知のうえ入札しなければならない。この入札について疑義がある場合は、入札説明書等に関する質問書（第1号様式）により、福島県県南地方振興局長に令和8年3月3日（火）午後5時までに説明を求めることができる。  
県は、入札情報公開システム（物品購入等）及び福島県県南地方振興局出納室ホームページに掲載する方法により回答する。
- (2) 入札書は郵送により、指定の日時まで確実に到着しなければならない。
- (3) 入札者は、入札書を一度提出した後は、開札の前後を問わず書換え、引換え又は撤回をすることができない。

## 11 入札の取り止め等

入札者が連合（談合）し、又は不隠の行動をなす等の場合において、入札を公正に執行することができないと認められるときは、当該入札者を入札に参加させず、又は入札の執行を延期し、若しくは取り止めることがある。

また、天災その他やむを得ない事由が生じたときは、入札の執行を延期し、又は取り止めることがある。

なお、これらの場合において入札参加者に生じた損害は、入札参加者の負担とする。

## 12 入札の無効

次の各号の一に該当する入札は無効とする。

- (1) 上記3の入札参加資格のない者の提出した入札
- (2) 記名、押印を欠く入札（押印を省略する場合、「本件責任者及び本件事務担当者」の氏名・連絡先の記載がない入札も含む）
- (3) 金額を訂正した入札

- (4) 誤字、脱字等により意思表示が不明瞭である入札
- (5) 同一人が同一事項に対して2通以上の入札をし、その前後を判別することができない入札又は後発の入札
- (6) 明らかに連合(談合)によると認められる入札
- (7) その他、この入札説明書等において示す入札に関する条件又は県において特に指定した事項に違反した入札

### 13 落札者の決定方法

- (1) 財務規則の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札をした者を落札者とする。

ただし、施行令第167条の10第1項の規定を適用する必要があると認めるときは、最低の価格をもって入札書を提出した者以外の者を、落札者とすることがある。
- (2) 落札となるべき同価の入札書を提出した者が2人以上あるときは、「別記2」により、入札書に記載したくじ番号で落札者を定める。
- (3) 入札者がいないとき、又は再度入札を執行しても落札者がいない場合は、施行令第167条の2第1項第8号の規定により随意契約とすることがある。
- (4) 入札結果については、入札情報公開システム(物品購入等)により公開する。

### 14 契約保証金

- (1) 落札者は、契約金額の100分の5以上の額の契約保証金を納付しなければならない。
- (2) 契約保証金は、現金(現金に代えて納付する小切手にあつては、福島県指定金融機関又は福島県指定代理金融機関が振り出したもの又は支払保証をしたものに限る。)で納めるものとするが、その納付に代えて担保として財務規則第169条第1項各号に規定する有価証券を提出することができる。
- (3) 財務規則第229条第1項各号(別記1)に該当する場合においては、契約保証金の全部又は一部の納付を免除する。
- (4) 契約保証金の減免については、落札者に別途通知する。
- (5) 契約保証金の納付及び還付については、別に定めるところによる。

### 15 契約の締結

- (1) 落札者は、発注者が交付する購入契約書(以下「契約書」という。)に記名押印し、落札決定の日から10日以内に契約書の取り交わしを行うこと。
- (2) 契約の確定時期は、地方自治法第234条第5項の規定により両者が契約書に記名押印したときに確定するものとする。
- (3) 落札者が、上記(1)に定める期間内に契約書を提出しないときは、落札を取消すことがある。
- (4) 落札者の決定後、契約が確定するまでの間において、当該落札者が公告に掲げる入札に参加する者に必要な資格に関する事項のいずれかの要件を満たさなくなった場合は、契約を締結しない。

### 16 契約条項

契約書(案)及び財務規則による。

#### 17 電子契約による契約締結の意向確認

本契約案件は、県が調達した電子契約サービスを利用した契約締結を行うことができる。

落札者は、電子契約による契約締結を希望する場合は、すみやかに「電子契約利用申出書兼メールアドレス確認書」に必要な事項を記載のうえ、県南地方振興局出納室

([kennan.suito@pref.fukushima.lg.jp](mailto:kennan.suito@pref.fukushima.lg.jp))宛に電子メールにより提出すること。（※電子契約を希望しない場合は従来の書面による契約とする。）なお、電子契約の詳細については、福島県ホームページの電子契約サービスのページを参照すること。

（電子契約ホームページ／

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01115c/nyusatsu-160.html>）

#### 18 異議の申し立て

入札参加者は、入札後、この入札説明書、契約条項及び仕様書等について、不明又は錯誤を理由として異議を申し立てることはできない。

#### 19 当該調達契約に関する事務を担当する部門

上記5の(1)と同じ。

福島県財務規則（抜粋）

（契約保証金の減免）

**第229条** 前条の規定にかかわらず、契約権者は、次に掲げる場合においては、契約保証金の全部又は一部の納付を免除することができる。

- (1) 契約の相手方が官公署及び知事がこれに準ずるものと認める法人であるとき。
- (2) 契約の相手方が保険会社との間に県を被保険者とする履行保証保険契約を締結しているとき。
- (3) 契約の相手方から委託を受けた保険会社、銀行、農林中央金庫その他予算決算及び会計令（昭和 22 年勅令第 165 号）第 100 条の 3 第 2 号の規定により財務大臣が指定する金融機関（次条第 2 項において「保険会社等」という。）と工事履行保証契約を締結したとき。
- (4) 過去 2 年間に官公署（予算決算及び会計令第 99 条第 9 号に掲げる沖縄振興開発金融公庫等を含む。）とその種類及び規模をほぼ同じくする契約を 2 回以上にわたり締結し、これらを全て誠実に履行し、かつ、契約を履行しないおそれがないと認められるとき。
- (5) 随意契約を締結する場合において、請負代金又は契約代金の額が 100 万円未満であり、かつ、契約の相手方が契約を履行しないおそれがないと認められるとき。
- (6) 1 件 500 万円未満の物品の購入契約を締結する場合において、当該契約に係る物品が当該契約において定める期日までに確実に納入されるものと認められるとき。

(7) から (18) まで (略)

2 (略)

## 別記 2

### 入札におけるくじ

条件付一般競争入札の開札の結果、落札となるべき同価の入札書を提出した者が2人以上ある場合は、「くじ」により落札者を決定する。

#### 1 入札書の「くじの数」欄に任意の値を記入

くじを行う場合に備えて、入札書の「くじの数」欄にあらかじめ任意の値（000～999）を記入する。

なお、記入がない場合は、物品購入(修繕)競争入札参加有資格者名簿の登録番号（以下「登録番号」という。）の下3桁の数値が記載されたものとみなす。

#### 2 くじの手順

- (1) 登録番号の小さい順にくじ番号（0、1、2・・・）を付与する。
- (2) 同額入札の入札書に記載されたくじの数を合算し、その合計額を入札書の数で除算し、余りを算出する。
- (3) 上記(2)の計算結果による余りと一致した上記(1)のくじ番号の入札参加者を落札者とする。

【例】入札参加者3名が同額入札の場合

#### 1 登録番号の小さい順にくじ番号を付与する。

- ・ A社（登録番号000212003）…くじ番号 1
- ・ B社（登録番号100033645）…くじ番号 2
- ・ C社（登録番号000003025）…くじ番号 0

#### 2 くじの数の和を求め、同額見積者数で除算し、余りを算定する。

- ・ A社（くじの数123）
- ・ B社（くじの数072）                      合計（123+072+452=647）
- ・ C社（くじの数452）                      余り（647÷3=215・・・余り2）

#### 3 契約者の決定

契約者は、余りの2と一致するくじ番号であるB社となる。

## 購入契約書(案)

品目及び数量 花苗ほか計11品目 一式

契約金額 ¥ \_\_\_\_\_

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 円)

納入期限 令和8年5月中旬から令和8年6月18日までの間で、別途発注者が指定する日

納入場所及び納入方法 福島県県南建設事務所管内(仕様書のとおり)及び発注者の指示による。

契約保証金

上記物品を購入するについて発注者「福島県」を甲とし、受注者「」を乙として次の条項に定めるところにより契約を締結する。

(総則)

**第1条** 乙は、別紙内訳書、仕様書及び図面に基づき、頭書の契約金額をもって頭書の期限内に頭書の物品を頭書の場所に納入しなければならない。

2 乙は、甲が指示したときは、頭書の期限内に当該物品を分納することができる。

(納入の通知)

**第2条** 乙は、甲の指定した場所に物品を納入したときは、ただちに納品書によりその旨を甲に通知しなければならない。

(検査及び引渡し)

**第3条** 甲は、納入の通知を受けた日から10日以内に乙に立会を求めて物品の検査を行ない、当該検査に合格したものについてはその引渡しを受けるものとし、当該引渡しを受けたときは、甲は、乙に受領書を交付する。

2 乙が前項の検査に立ち会わないときは、甲は、乙の欠席のまま検査をすることができる。

3 甲は、検査をしたときは、すみやかにその結果を書面により乙に通知するものとする。

(不合格品の引取り又は取替え等)

**第4条** 甲が検査の結果不合格と認めた物品については、乙は、自己の費用をもって引取り、かつ、納入期限内又は甲の指定する期日までに取替えをし、又は補充をしなければならない。当該取替え又は補充後の物品にかかる納入及び検査については、前2条の規定を準用する。

(所有権の移転)

**第5条** 物品の所有権は、甲が検査の結果合格と認め、その引渡しを受けた時に、乙から甲に移るものとする。

2 所有権の移転前に生じた物品の滅失、き損、減量その他一切の損害は、特約のある場合を除くほか、すべて乙の負担とする。

(契約不適合責任)

**第6条** 甲は、引き渡された物品が種類、品質又は数量に関して契約内容に適合しない場合は、その物品の引渡しを受けた後1年以内に限り、乙に対して物品の修補、代品の引渡し、不足分の引渡し若しくは代金の減額のいずれか、又は物品の修補、代品の引渡し若しくは不足分の引渡し及び代金

の減額を請求することができ、乙はこれに応じるものとする。

(有償延期及び遅延利息)

**第7条** 乙の責めに帰すべき事由により、期限内（分納の期日を定めたときはその期日まで）に物品の納入の完了の見込みがないときは、乙は、その事由を付した書面をもって、甲に納期の延長を申し出なければならない。

2 前項の場合において、期限後相当の期日内に納入が完了する見込みがあるときは、甲は、乙から遅延利息を徴収することを条件として納入期限を延長することができる。

3 甲は、前項の規定により納入期限を延長することを認めたときは、その旨を乙に通知するとともに当該納入期限の延長に関する契約を乙との間に結ぶものとし、乙は、これに応ずるものとする。

4 第2項の遅延利息は、遅延期間の日数に応じ納入未済相当額に政府契約の支払遅延防止等に関する法律第8条第1項の規定により財務大臣が決定した率で計算した額（当該額に100円未満の端数があるとき、又はその全額が100円未満であるときは、その端数金額又はその全額を切り捨てる）とする。

5 前項の場合において、検査確認に要した日数は、遅延日数に算入しない。

(天災地変、不可抗力による無償延期等)

**第8条** 天災地変、不可抗力その他乙の責めに帰すことができない事由により、期限内（分納の期日を定めたときはその期日まで）に物品を納入することができないときは、乙は甲に対し、すみやかにその事由を詳記して、納入期限の延長又は契約の一部変更若しくは解除の申出をすることができる。この場合において、甲は、その事由を相当と認めたときは、遅延利息又は第11条に定める違約金を徴収することなく、これを承認するものとする。

(代金の支払)

**第9条** 甲は、乙の適法な支払請求書を受理した日から30日以内に完納物品の代金を支払うものとする。

2 前項の支払請求書は、第3条第3項の規定による検査に合格した旨の通知を得た後でなければ、提出することができない。

3 分納の期日を定めたものについて、当該期日内に当該分納部分が納入されたときは、完納とみなして前2項の規定を準用する。

(甲の解除権)

**第10条** 甲は、次の各号のいずれかに該当するときは、契約の全部又は一部を解除することができる。

一 乙が納期限内に物品の持込みを終わらないとき。

二 乙が納期限内に明らかに物品を納入することができないと認められるとき。

三 乙が解除を申し出たとき。

四 乙又はその代理人若しくは使用人等に不正の行為があったとき。

五 乙が次のいずれかに該当するとき。

イ 役員等（乙が個人である場合にはその者その他経営に実質的に関与している者を、乙が法人である場合にはその役員、その支店又は常時物品の購入契約を締結する事務所の代表者その他経営に実質的に関与している者をいう。以下この号において同じ。）が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下この条において「暴力団」という。）又は同条第6号に規定する暴力団員（以下この条において「暴力団員」という。）であると認められるとき。

ロ 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしていると認められるとき。

ハ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していると認められるとき。

ニ 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしている

と認められるとき。

ホ 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められるとき。

ヘ 原材料の購入契約その他の契約に当たり、その相手方がイからホまでのいずれかに該当することを知りながら、当該者と契約を締結したと認められるとき。

ト 乙が、イからホまでのいずれかに該当する者を原材料の購入契約その他の契約の相手方としていた場合（ヘに該当する場合を除く。）に、甲が乙に対して当該契約の解除を求め、乙がこれに従わなかったとき。

六 乙が暴力団又は暴力団員が経営に実質的に関与していると認められる者若しくは社会的非難関係者（福島県暴力団排除条例施行規則（平成 23 年福島県公安委員会規則第 5 号）第 4 条各号に該当する者）に契約代金債権を譲渡したとき。

（契約が解除された場合等の違約金）

**第 11 条** 次の各号のいずれかに該当する場合には、乙は違約金として契約金額又は契約解除部分相当額の 10 分の 1 を甲に納付しなければならない。又、契約解除により甲に損害を及ぼしたときは、甲が算定する損害額を乙は甲に納付しなければならない。ただし、天災地変、不可抗力等乙の責めに帰すことのできない事由による解除の場合は、この限りでない。

一 前条の規定によりこの契約の全部又は一部が解除された場合

二 乙がその債務の履行を拒否し、又は、乙の責めに帰すべき事由によって乙の債務について履行不能となった場合

2 次の各号に掲げる者がこの契約を解除した場合は、前項第二号に該当する場合とみなす。

一 乙について破産手続開始の決定があった場合において、破産法（平成 16 年法律第 75 号）の規定により選任された破産管財人

二 乙について更生手続開始の決定があった場合において、会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）の規定により選任された管財人

三 乙について再生手続開始の決定があった場合において、民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）の規定により選任された再生債務者等

3 第 1 項の規定にかかわらず、乙の責めに帰すべき事由により第 7 条の規定に基づく納入期限の延長があった場合において、甲が前条の規定により契約を解除したときは、乙は、第 1 項の違約金に当初の納期の翌日から甲が契約解除の通知を発した日（乙から解除の申出があったときは、甲がこれを受領した日）までの期間の日数に応じ、契約金額又は契約解除部分相当額に政府契約の支払遅延防止等に関する法律第 8 条第 1 項の規定により財務大臣が決定した率で計算した額を加えた金額を違約金として甲に納付しなければならない。

（契約の変更等）

**第 12 条** 甲は、必要があるときは、この契約の内容を変更し、又は物品の納入を一時中止させ、若しくはこれを打ち切らせることができる。この場合において、契約金額を変更する必要があるときは、甲、乙協議してこれを定めるものとする。

2 前項の場合において、乙が損害を受けたときは、甲は、その損害を賠償しなければならない。この場合における賠償額は、甲、乙協議して定めるものとする。

（権利義務の譲渡等の禁止）

**第 13 条** 乙は、この契約によって生ずる権利又は義務を、甲の承諾なしに、譲渡し、承継させ、又は担保に供してはならない。

（談合による損害賠償）

**第 14 条** 甲は、この契約に関し乙が次の各号のいずれかに該当するときは、契約の解除をするか否かを問わず、賠償金として、契約金額の 10 分の 2 に相当する額を請求し、乙はこれを納付しなければならない。ただし、第 1 号又は第 2 号のうち命令の対象となる行為が私的独占の禁止及び公正取

引の確保に関する法律（昭和 22 年法律第 54 号。以下「独占禁止法」という。）第 2 条第 9 項の規定に基づく不公正な取引方法（昭和 57 年公正取引委員会告示第 15 号）第 6 項で規定する不当廉売に当たる場合その他甲が特に認める場合はこの限りでない。

一 公正取引委員会が、乙に違反行為があったとして、独占禁止法第 49 条の規定による排除措置命令を行い、当該排除措置命令が確定したとき。

二 公正取引委員会が、乙に違反行為があったとして、独占禁止法第 62 条第 1 項の規定による課徴金の納付命令を行い、当該納付命令が確定したとき。

三 乙（乙が法人の場合にあっては、その役員又はその使用人）に対し、刑法（明治 40 年法律第 45 号）第 96 条の 6 の規定による刑が確定したとき。

2 前項の規定は、この契約の履行が完了した後においても適用するものとする。なお、甲が受けた損害額が前項の規定により計算した賠償金の額を超える場合において、甲は、その超過分に対して賠償を請求することができるものとし、乙はこれに応じなければならない。

（遅延利息等の相殺）

**第 15 条** この契約に基づく遅延利息、違約金又は賠償金として、甲が乙から徴収すべき金額があるときは、甲はこれを物品の代金と相殺し、なお不足を生ずるときは更に追徴することができる。

2 甲は、この契約に基づき甲が乙に対して有する遅延利息、違約金及び賠償金にかかる債権につき、その保全上必要があるときは、乙に対し、その業務若しくは資産の状況について質問し、帳簿書類その他の物件を調査し、又は参考となるべき報告若しくは資料の提出を求めることができる。

3 甲は、乙が前項の規定に違反して質問に対する応答、報告等をせず、若しくは虚偽の応答、報告等をし、又は調査を拒み、妨げ、若しくは忌避したときは、当該債権の全部又は一部について、履行期限を繰り上げることができる。

（契約外の事項）

**第 16 条** この契約に定めのない事項及びこの契約に定める事項に関する疑義については、必要に応じて、甲、乙協議して定めるものとする。

（紛争の解決方法）

**第 17 条** 前条の規定による協議が整わない場合、この契約に関する一切の紛争に関しては、甲の所在地を管轄とする裁判所を管轄裁判所とする。

（書面契約による場合）

上記の契約の証として本書 2 通を作成し、当事者記名押印の上、各自 1 通を保有する。

（電子契約による場合）

上記の契約の証として、本書を電磁的記録により作成し、当事者が地方自治法施行規則（昭和 22 年内務省令第 29 号）第 12 条の 4 の 2 に規定する電子署名を行い、各自その電磁的記録を保有する。

令和 8 年 月 日

甲 氏 名 福島県  
福島県南地方振興局長 伊藤 智樹

乙 住 所

氏 名

# 仕 様 書

- 1) 品名 : 花苗ほか 計11品目 一式  
2) 業務名及び : フラワーロード事業  
路線 : 一般国道、主要地方道、一般県道  
3) 箇 所 : 県南建設事務所管内

(1) 事業の目的 : 花の苗を町内会等へ配付し、国県道の沿道緑化をはかり  
地元道路への愛着心を育てることを目的とする。

(2) 業務内容 : 花の苗を町内会等へ配付する。  
ポット数、配付箇所については別紙のとおり。

(3) 花苗の規格 :

	名称	形状寸法	規格等	単位	数量(本)
1	マリーゴールド	9cmポット	花苗・2芽立・草丈15cm以上	ポット	18,960
2	サルビア	9cmポット	花苗・草丈15cm以上	ポット	9,795
3	ペチュニア	9cmポット	花苗・花径(幅)10cm以上	ポット	2,860
4	ニチニチソウ	9cmポット	花苗・草丈15cm以上	ポット	5,350
5	ペゴニア	9cmポット	花苗・花径(幅)8cm以上	ポット	10,245
6	アゲラタム	9cmポット	花苗・花径(幅)8cm以上	ポット	200
7	芝桜	9cmポット	花苗・草丈15cm以上	ポット	100
8	メランポジューム	9cmポット	花苗・花径(幅)8cm以上	ポット	200
9	サフィニア	9cmポット	花苗・花径(幅)8cm以上	ポット	430
10	化学肥料	20kg/袋		袋	2
11	苦土石灰	20kg/袋		袋	2
花苗等合計					48,144

- ・ 良好な生育状況の花苗を納品すること。
- ・ 納入物は、植え付け用の苗であること。
- ・ 納入費用、配送費用等の諸費用を含むこと。
- ・ 花色は指定しない。

(4) 納入時期及び : 1回目の納入日は令和8年5月中旬以降とし、最終の納  
納入方法 : 入日は令和8年6月18日(予定)とする。契約後速やかに各団体に確認し、詳細な日程を調整するものとする。

なお、納入の詳細な日程、納入場所等については、管理課及び各団体と調整すること。

(5) 打合せ等 : 契約後速やかに、県南建設事務所 企画管理部 管理課  
と協議打合せを実施すること。

市町村名 大字名 路線名	配付希望月日	配付団体	花苗の種類	数量（本）	備考
春苗					
1 白河市 昭和町 白河羽鳥線	5月30日	昭和町自治会	マリーゴールド ペゴニア	600 400	
2 白河市 萱根 高橋川沿線	6月中旬	萱根自治会	マリーゴールド ペゴニア	1,000 2,000	
3 白河市 久田野 母畑白河線 久田野停車場線	6月6日	久田野自治会	マリーゴールド ペゴニア	2,400 1,200	
4 白河市 小田川 久田野停車場線	6月3日	小田川小田ノ里第一・第二白寿会	ニチニチソウ 化学肥料 苦土石灰	1,850 2 20kg/袋 2 20kg/袋	
5 白河市 表郷番沢 中野番沢線	6月2日	おもてごう保育園	マリーゴールド ペチュニア ペゴニア	80 80 80	
6 白河市 表郷金山 国道289号	5月中旬	表郷幼稚園	マリーゴールド ペチュニア ペゴニア ニチニチソウ	80 30 30 30	
7 白河市 大信増見 国道294号	5月中旬	大信庁舎 事業課	マリーゴールド サルビア	350 160	
8 白河市 大信中新城 矢吹天栄線	5月中旬	大信庁舎 事業課	マリーゴールド サルビア	2,500 1,000	
9 白河市 東釜子 東地区県道沿線	5月22日	東庁舎 地域振興課	マリーゴールド サルビア ペゴニア	1,540 1,155 875	
10 白河市 旗宿 県道76号	6月5日	旗宿自治会	マリーゴールド サルビア ペゴニア	2,000 1,500 1,500	
11 白河市 表郷深渡戸 社田浅川線	6月5日	深渡戸ふるさと保全会	マリーゴールド サフィニア	430 430	

市町村名 大字名 路線名	配付希望月日	配付団体	花苗の種類	数量(本)	備考
12 白河市 表郷金山 国道289号	6月12日	表郷環境ネットワーク	ペチュニア マリーゴールド ニチニチソウ ペゴニア サルビア 芝桜	50 100 50 50 50 100	
13 白河市 泉岡 国道294号	6月5日	白坂泉岡町内会	マリーゴールド サルビア ペゴニア アゲラタム メランポジウム ペチュニア	700 600 300 200 200 200	
17 白河市 堀之内 社田浅川線	6月18日	堀之内緑清会	サルビア マリーゴールド ペチュニア	200 200 200	
18 西郷村 羽太 白河・羽鳥線	5月下旬	羽太グリーンタウン行政区	マリーゴールド	1,600	
19 西郷村 真船 国道289号	5月中旬	四季を楽しむ甲子高原温泉を守る会	ペゴニア	600	
20 泉崎村 泉崎 塙泉崎線	5月25日	花いっぱいボランティアの会	マリーゴールド サルビア ペゴニア	250 300 100	
21 泉崎村 泉崎 塙泉崎線	5月25日	ダリヤ愛好会	マリーゴールド サルビア ペゴニア	250 200 150	
22 泉崎村 関和久 塙泉崎線	5月25日	瀬上花愛好会	マリーゴールド サルビア ペゴニア	400 200 150	
23 泉崎村 関和久 母畑白河線	5月25日	関和久宿老人クラブ	マリーゴールド サルビア ペゴニア	300 300 200	

市町村名 大字名 路線名	配付希望月日	配付団体	花苗の種類	数量(本)	備考
24 中島村 滑津 棚倉矢吹線	5月中旬	中島村子供会育成連合協議会	マリーゴールド サルビア ペゴニア	450 450 450	
25 中島村 滑津 外 棚倉矢吹線 白河石川線	5月下旬	中島村老人クラブ連合会	マリーゴールド サルビア ペゴニア	1,500 1,500 1,500	
26 矢吹町 上宮崎 石川矢吹線	5月29日	須乗新田行政区 (矢吹町都市整備課)	マリーゴールド サルビア ペチュニア ニチニチソウ	605 605 535 535	
27 矢吹町 中畑 棚倉矢吹線	5月29日	中畑小学校 (矢吹町都市整備課)	マリーゴールド サルビア ペチュニア ニチニチソウ	100 100 100 100	
28 矢吹町 神田東 石川矢吹線	6月5日	神田行政区 (矢吹町都市整備課)	マリーゴールド サルビア ペチュニア ニチニチソウ ペゴニア	400 300 200 200 50	
29 矢吹町 沢尻 石川矢吹線	6月9日	太田工業(株) (矢吹町都市整備課)	マリーゴールド サルビア ペチュニア ニチニチソウ	100 100 50 50	
30 矢吹町 諏訪の前 石川矢吹線	6月16日	レンゴー(株) (矢吹町都市整備課)	マリーゴールド サルビア ペチュニア ニチニチソウ	125 125 125 125	
31 矢吹町 白山 石川矢吹線 須賀川矢吹線	6月5日	(有)小針運送 (矢吹町都市整備課)	マリーゴールド サルビア ペチュニア ニチニチソウ	300 50 350 350	
32 矢吹町 弥栄 棚倉矢吹線	5月22日	弥栄行政区 (矢吹町都市整備課)	ペチュニア ニチニチソウ ペゴニア	300 700 300	

令和8年度 フラワーロード 花苗希望集計表

別紙

市町村名 大字名 路線名	配付希望月日	配付団体	花苗の種類	数量(本)	備考
33 矢吹町 八幡町 石川矢吹線	5月29日	JA東西しらかわ矢吹中央支店 (矢吹町都市整備課)	マリーゴールド サルビア ペチュニア ニチニチソウ	400 300 300 700	
34 矢吹町 八幡町 棚倉矢吹線	5月中旬	草友会 (矢吹町都市整備課)	マリーゴールド サルビア ペチュニア ニチニチソウ ペゴニア	200 600 340 660 310	
35					

春植え分	数量(本)	備考
1 マリーゴールド	18,960	
2 サルビア	9,795	
3 ペチュニア	2,860	
4 ニチニチソウ	5,350	
5 ペゴニア	10,245	
6 アゲラタム	200	
7 芝桜	100	
8 メランボジューム	200	
9 サフィニア	430	
合計	48,140	
10 化学肥料	2	
11 苦土石灰	2	